

未来を開く

長井市立長井北中学校 No55 令和4年11月10日

問われる「責任」と「モラル」

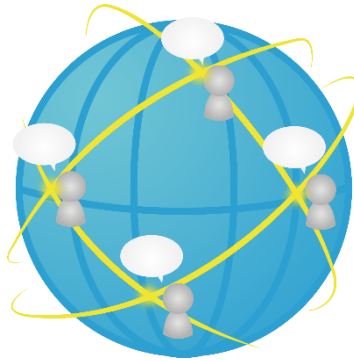
「ICT機器の使用状況等」の調査結果がまとまった。プライバシーを守り、どう活用すべきか、茶の間の話題にしてみたい。

今年度も「生徒の情報端末使用状況について」の調査依頼があり、実施して集約いたしました。

ご承知のとおり、スマホやSNSを介して憂慮すべき事件や事故が全国的に多発しており、この調査を実施する背景となっています。

調査結果については、県や全国で集約され、今後の指導の資料となるものです。

調査項目は以下のとおりです。



質問1 インターネットにつながるICT機器を所有している人数
(割合)(フィルタリングの有無も含む)

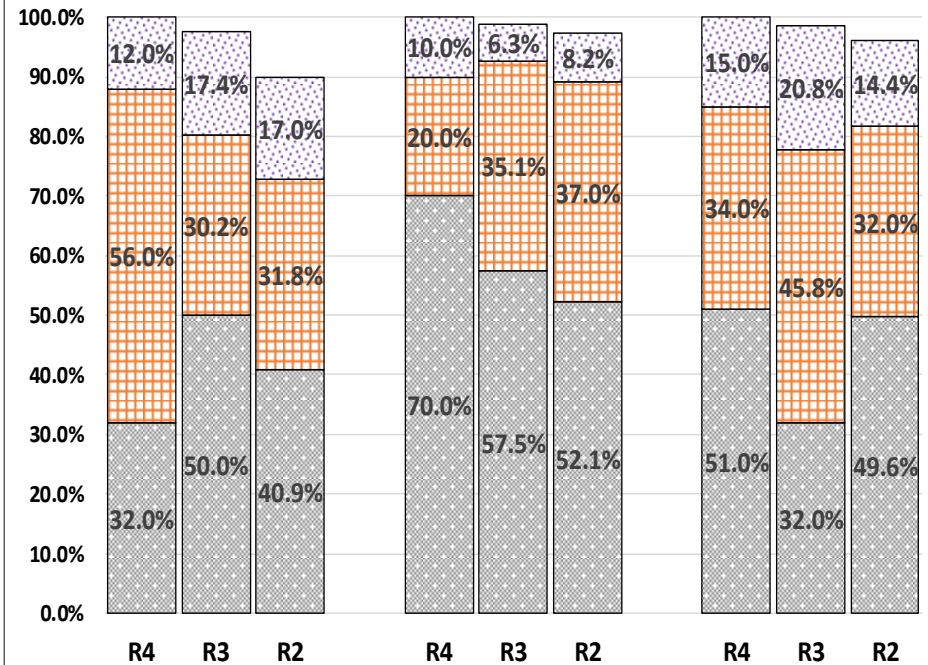
質問2 インターネットにつながるICT機器の種類(複数回答可)

質問3 インターネットにつながるICT機器の使用状況について

質問4 連絡や情報交換を行う相手

調査は、令和4年11月8日に実施しました。調査人数は、1年生74名、2年生79名、3年生86名の合計239名でした(在籍は、276名)。

インターネットにつながるICT機器の所有率とフィルタリングの状況

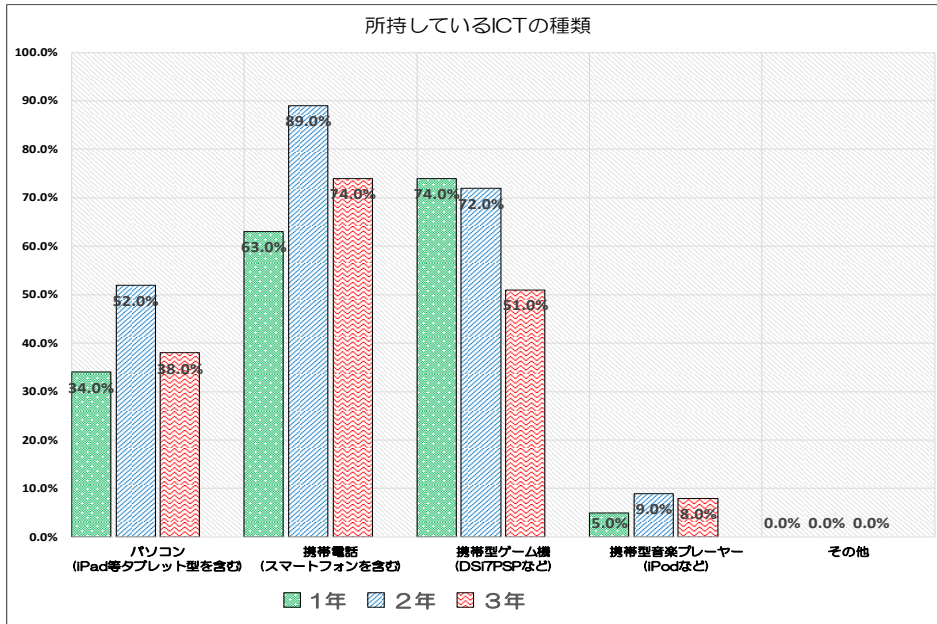


※グラフは上から順に右の項目を示しています

1年 フィルタリングをしているものもある
2年 フィルタリングをしている
3年 フィルタリングはしていない

質問1について ICT機器の所有率はほぼ100%に近い数字となっています。小学校時代からの所有率増加も、影響しているようです。

フィルタリングの未実施率が、50%に迫る学年もあります。ネット犯罪等に巻き込まれないような対策が求められます。



質問2について 全学年をとおして、携帯(スマートフォン含む)の所持率が非常に高い状況です。次いで、携帯型ゲーム機そしてパソコン(タブレット含む)の順となっています。

質問4について 「実際には会ったことがない人」と情報交換を、22%を超える生徒(52人ほど)が行っていました。(昨年度は「実際に会った」と答えた人が15人ほどいました。)

「どこでもドア」「何万冊もの百科事典」「誰ともつながる魔法の箱」、夢のような機器を『持った責任、持たせた責任』。自分や他人を傷つけたりしないよう、思いやりと自制心が求められます。
総務省では『インターネットトラブル事例集(2022年版)』や、YouTubeで「上手にネットと付き合おう」で、トラブル事例の紹介もしており、大変参考になるようです。一度ご覧ください。

質問3について SNS、ゲーム、動画・音楽鑑賞等さまざまな場面で活用されています(健康な生活と利用時間の約束が求められます)。

